

お問い合わせ先

三原の光を観よう、
魅せよう。…… 10



瀬戸内三原
築城450年事業

今年12日(金)〜14日(日)に開催される三原神明市。小早川隆景も大切に守ったと伝わるこの祭りの主役「だるま」の魅力を生粋の三原っ子 古田まみさんと一緒にお魅せします。

まず向かったのは、東町三丁目の極楽寺。境内にある達磨記念堂には、全国から集められた約7千体のだるまが所蔵されています。

所狭しと並ぶだるまに圧倒されながら、古田さんは「三原のだるまは何だか個性的」と気付いたよつす。



「ふるさと三原を次の世代へと伝えていく連載企画。県立広島大学三原キャンパスの学生と三原の歴史や文化を再発見していきます。」



看護学科2年 古田まみさん



地域ごとに分類されています

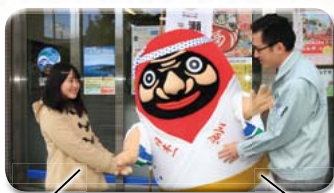
「さすがは三原っ子！三原のだるまは、両目が描いてあったり、豆絞りの鉢巻きを巻いていたりといった特徴があります。制作体験もできるので行ってみましよう。でも、その前に今話題のだるまさんを訪ねてみませんか？」

「もしかして？」と笑う古田さんと訪ねたのは駅前築城450年事業推進担当室。やつさだるまんと職員の有平明彦さんが迎えてくれました。

「やつさだるまはもともと、神明市の大だるま。『やつさ踊りを踊りたい』という願いが叶い、動き出したんですよ。姿を見たり、法被に触れたりすると幸せになれるという噂もありますよ」と有平さん。「私も幸せになりました」と早速、古田さんもタッチ。

「神明市の初日、12日(金)には瀬戸内三原築城450年事業のプレオープンニングセレモニーが開催されます(詳しくはページ)。やつさだるまも触りに来てくださいねと有平さんもしっかり宣伝します。

最後に向かったのは港町一丁目の三原だるま工房。ここでは、三原だるまの土台作りや面相描きを体験できます(詳しくは14ページ)。三原だるまには願いが



法被だけにハッピー

が成るように鈴や小石の鳴り物が入っているんですよ」と講師の定丸妙子さん。古田さんも定丸さんに教えてもらいながら面相描きに挑戦します。

「ちよつとおもしろい顔になっちゃったけど、完成！」と喜ぶ古田さん。「今日は、三原のだるまの事がよくわかりました。神明市もいつもの10倍は楽しめよう」と話してくれました。

達磨記念堂の一般公開、三原小児童によるだるま行列など、見どころ満載の今年の神明市。皆さんの来場をお待ちしています。

記念にパシャリ



友達にも自慢します



☎築城450年事業推進担当室
0848-610450



三原市の人口(12月31日現在)

世帯数	43,975 世帯 (+110)
人口	97,849 人 (-857)
男	46,777 人 (-382)
女	51,072 人 (-475)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

税などの納期(普通徴収)

- 固定資産税・都市計画税(第4期)
 - 国民健康保険税(第8期)
 - 介護保険料(第8期)
 - 後期高齢者医療保険料(第8期)
- 納期限 2月29日(月)

夜間収納窓口(19時まで)
4日(木)・18日(木)・25日(木)

航空機の騒音測定結果(12月分) (Lden)

▶正広局(本郷町善入寺正広)=51.5 ▶本郷局(本郷町船木川西上)=52.9

あ・と・が・き
最終ページの取材で訪れた達磨記念堂。医学博士の青山昭美さんと極楽寺の住職さんによって集められただるまが展示されています▼髪の毛が生えていたり、顔が猿だったり各地の風土を反映した珍しいだるまがたくさんありました▼庁舎内にも三原だるまが飾られています。たまに、揺らして、願いが成るように鳴らしてみること。だるまに見つめられると「ちゃんとしておるのか」と問われているような気がします▼縁起のよいだるまの力を借りて、何事も頑張りたいと思います(Y)